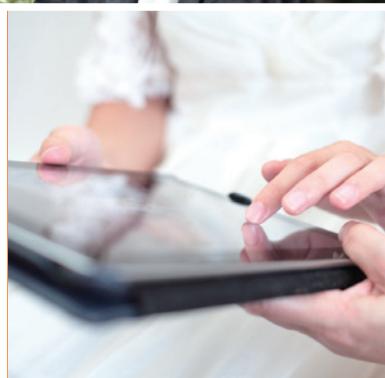


第36期
平成29年4月1日～平成29年9月30日

中間株主通信

株式会社システナ
証券コード：2317



デジタル社会を、
幸せな社会へ。
ITサービスの
システナ





トータル・ソリューション・サービス

企画・提案

設計

開発・構築

導入

教育

ヘルプデスク

運用・保守

企画から保守までのトータル・ソリューション・サービスを提供しています。

ソリューションデザイン事業

自動運転・車載システム、通信事業者サービス、社会インフラ関連システム、スマートフォンやWebアプリなどの開発、ロボット・人工知能・IoTを使った組み込み開発など各種システム、サービスの企画から設計・開発・検証・運用までを一貫してサポートしています。

主要顧客：通信キャリア、通信機器メーカー、自動車メーカー、インターネットビジネス企業

フレームワークデザイン事業

金融機関（損保・生保・銀行）をはじめ、産業系・公共系などの幅広い業種向けに、基幹・周辺システムの開発および基盤系システムの設計・構築を行っています。

主要顧客：損保、生保、銀行

ITサービス事業

システムやネットワークの運用・保守・監視、ヘルプデスク・ユーザーサポート、データ入力、大量出力など、ITに関する様々なアウトソーシングサービスを行っています。

主要顧客：電機メーカー、銀行、外資系企業、官公庁

ソリューション営業

サーバー、パソコン、周辺機器、ソフトウェアなどのIT関連商品を企業向けに販売しています。また、基盤構築、仮想化など、IT機器に関連した最新のサービスを提供しています。

主要顧客：電機メーカー、外資系企業をはじめとする一般事業法人

クラウド事業

自社サービス「Canbus.」「Cloudstep」、[Web shelter] の提供および「IG Suite」,[Microsoft Office 365] などクラウド型サービスの提供・導入支援を行っています。

主要顧客：一般事業法人（中堅から大企業まで）

コンシューマサービス事業

グループ会社の株式会社GaYaが主体の事業で、スマートフォン向けソーシャルゲームの企画・開発・提供を行っています。

主要顧客：SNSサイト運営会社、一般個人ユーザー

海外事業

モバイル通信関連技術支援、開発・検証支援、各種ソリューションの提供、最新技術やサービスの動向調査および事業化を行っています。

主要顧客：日系企業、アメリカ企業、通信キャリア、通信機器メーカー

投資育成事業

平成28年4月1日設立の子会社（株式会社インターネットオブシングス、株式会社キャリアリンクージュ）を通じて新規事業を行っています。

株主の皆様へ — 第36期第2四半期の連結業績概況

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第36期第2四半期(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)の概況につきましてご報告申し上げます。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成29年12月
代表取締役社長 三浦 賢治

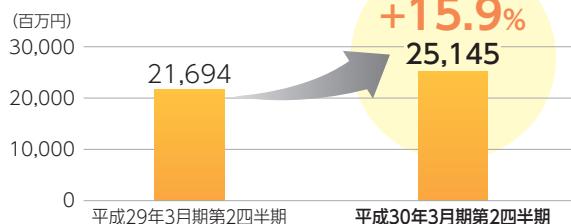


業績概況

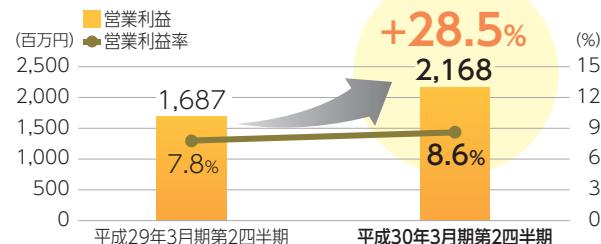
売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益

ソフトウェア開発では、大きな成長が見込まれる、車載、社会インフラおよびロボット/AIの分野へ経営資源をシフトしながら、主力の通信キャリアをはじめとしたネットビジネスの顧客のIoT関連システムの構築・検証業務に注力しました。ソリューション営業は、各事業と連携を強化し、サービスメニューの拡充を行った結果、自社ソリューションのカスタマイズおよび保守運用・トレーニングを含めたワンストップサービスを提供するシステムインテグレーターへと進化しています。さらに、ストック型ビジネスである自社商材・サービスの拡充・積極展開と共に、IoT、セキュリティ、LoRaをキーワードとした国内外の子会社やベンチャー企業との連携により、IoTソリューション関連商材のグローバルな販売に向けた取り組みを加速させています。これらの結果、売上高は15.9%増の25,145百万円、営業利益は28.5%増の2,168百万円となりました。

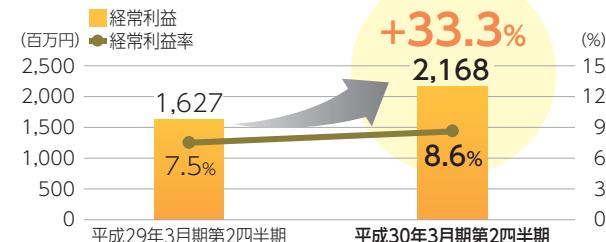
● 売上高



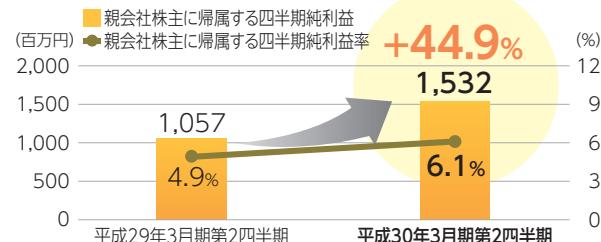
● 営業利益(率)



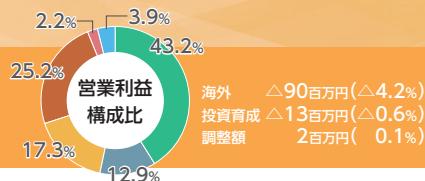
● 経常利益(率)



● 親会社株主に帰属する四半期純利益(率)



各事業の概況



売上高 営業利益

ソリューションデザイン 8,792百万円 937百万円

車載:車載インフォテインメントやECU(電子制御ユニット)の開発を中心に、当期から自動運転案件の拡大に加え、新規にコネクテッドカー関連の受注に成功し、事業領域を拡大しています。

社会インフラ:電力、交通、航空、宇宙、防衛などに関わる当分野では、航空システム関連の開発業務が一段落する中、安定して推移する電力および公共関連案件に加え、防衛関連の受注が大幅に拡大しています。今後は、これらに加え、新たに自動運転につながる交通分野の拡大を狙っています。

ネットビジネス:通信キャリアの大規模基幹サービス開発、市場拡大を続けるECサイト開発に加え、訪日客増加に伴う決済サービスの開発・評価業務の引き合いが増加し、順調に受注を拡大しています。

スマートデバイス/ロボット/AI:想定通りスマートフォンの開発・検証業務は維持/縮小傾向でしたが、注力するロボットおよび家電開発に加え、人工知能(AI)に関連する開発業務、IoT関連機器の開発業務の引き合いは増加しており、スマートフォン開発の減少をカバーしています。

業務システム:大型案件の開発完了による売上減少の影響はあるものの、新規にコールセンター向けのシステム開発を受注するなど、引き合いも豊富であり、好調に推移する見込みです。

フレームワークデザイン 2,166百万円 280百万円

既存顧客の保険・銀行システムにおける制度改定や品質強化案件等で追加受注があり、堅調に推移しています。今後、損保の大型開発において受注拡大を見込んでおり、技術者のシフトや育成を進めていきます。さらに、各事業との連携やプロダクトバンダーとの協業を軸としたツール導入サービスの販促活動の結果、クラウド関連や運用自動化ツール等の引き合いを受注につなげています。

ITサービス 3,399百万円 374百万円

システムの運用・保守、ヘルプデスク、ユーザーサポートを主な業務とする当事業は、顧客のプロフィット部門に対してITサービス全般の提案を行う中で、「ITサポート」や「インフラ構築」などの高付加価値案件を中心に請負型業務の新規受注が増加しました。また、働き方改革に対応した「ITトレーニング」、情報セキュリティに対するリスクマネジメントとしての「セキュリティ教育」や「Windows10導入」などが企業ニーズを捉え、新規顧客数の増加につながりました。

売上高 営業利益

ソリューション営業 10,274百万円 546百万円

IT関連商品の法人向け販売および外資・中堅企業向けを中心としたシステムインテグレーションを主な業務とする当事業は、サーバー・ストレージといったハードウェア市場が減速する中、政府主導による「働き方改革」をキーワードにモバイル、セキュリティ、そしてクラウドを中心とした需要を喚起するソリューションの構築、さらには部門間連携の強化に取り組みました。

クラウド 438百万円 48百万円

企業等にクラウドソリューションや自社開発商品を提供する当事業は、「Cloudstep」を中心とした戦略を推進し、「Cloudstep」の機能強化が新規顧客のニーズを的確に捉え、旺盛な案件状況となりました。また、平成29年5月1日から新サービスとしてクラウドデータベース「Canbus. \ キャンバスドット」の提供を開始しました。提供開始から多くのお申し込みをいただき、今後の注力商材としてさらなる投資と営業強化を図っています。一方、金融機関向けスマートフォン不正送金・フィッシング詐欺対策アプリ「Web Shelter」は、「スマートフォン通帳」や「口座開設」などのサービス強化が奏功し、旺盛な案件状況となりました。

コンシューマサービス 265百万円 83百万円

主に連結子会社の株式会社GaYaが行う当事業は、平成28年11月にリリースした協業タイトル「アルティルクロニクル」を主力コンテンツと位置付け、テレビCMや人気アニメとのコラボ等、露出強化に取り組んだ結果、第1四半期に続いてリリース以降最高の月次売上を達成しました。

海外 49百万円 △90百万円

アメリカ子会社は、システナ本体およびグループ会社と連携し、日本での独占販売権を持つ、①アメリカ西海岸の大都市でスマートシティ計画に採用されるなど、多くの採用実績のあるプラズマ社の「IoTプラットフォーム」、②世界各国の中央銀行、軍事機関など、グローバルで多くの導入実績があるストロングオース社の「暗号化と次世代認証セキュリティ・ソリューション」の販売に向けて、日本語化や日本仕様の追加開発を継続すると共に、両社との共同ビジネスを推進していきます。また、「LoRaWANを利用したIoTソリューション」は、IoT関連の展示会を通じてアメリカをはじめ世界各国の企業からスマートパーキング、スマートファクトリー、スマートファーム等の用途で多数の引き合いがあり、早期の受注獲得に向けて注力しています。一方、タイ子会社は、情報サービス「バングル」の収益化に取り組んでいましたが、黒字化および事業継続は困難と判断し、解散し清算することとなりました。

クラウド・データベース「Canbus.」が好調に推移

あらゆる部門の業務におけるIT経営を支援するクラウド・データベース「Canbus.」は、平成29年5月1日にサービス提供を開始して以来、銀行業から小売業まで、利用企業数を順調に伸ばしています。多くの企業さまにご利用いただき、幅広くIT経営の実現・促進に寄与しています。

〈利用企業例〉

幅広い業種、さまざまな部署でのIT経営をサポート

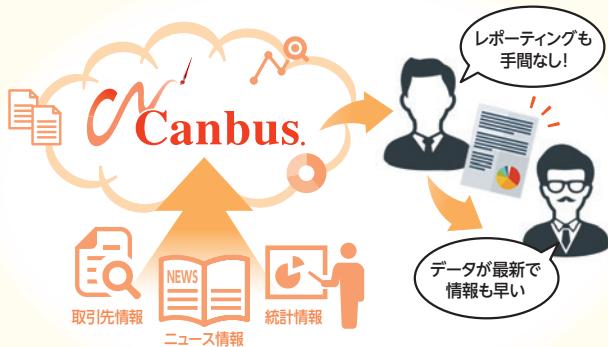
and more

部門別のIT経営活用例

経営企画部のIT経営

CHECK

- 経営トップのサポート業務
- 常に最新の情報がほしい
- 契約期限の管理負担を軽減したい



POINTS



- ✓ 経営層が必要とする情報を集約し、素早くレポート。
- ✓ 個々のデータを連携して一元管理。最新の情報分析が可能。
- ✓ 適切なタイミングで契約期限が通知され、人的管理負担をゼロに。

人材戦略部のIT経営

CHECK

- 各部門へのITコンサル
- ナレッジの共有
- 社内の問題をスピード解決



POINTS



- ✓ ITによる部門支援を行い、戦略的に業務改善。
- ✓ 集約された情報を簡潔に整理でき、必要な情報を素早くピックアップ。
- ✓ 社内の課題を管理して、起案から解決までのステータスを共有。

システナはIoTのセキュリティを守ります

「あらゆるモノ」がインターネットにつながるIoT (Internet of Things:モノのインターネット) の概念が一般に浸透・定着してきています。IoTの普及・活用にあたっての一番の課題は、セキュリティ対策です。システナのIoT用途向けセキュリティパッケージは、システナグループのIoTデバイスと、グローバルマーケットで豊富な実績を持つアメリカのストロングオース社のセキュリティサーバーを組み合わせることで、パスワードを使わずに安全性を確保するなど、サービス事業者さまの強固なセキュリティ環境を構築します。

モデルケース

- 信頼できないIoT機器 (ゲートウェイ・センサー等) からのデータを検知したい。
- 受信データの改ざんを検知したい。改ざんされていないことを保証したい。
- 機密データを暗号化または非機密化 (トークン化) したい。
- パスワードレスで厳格な認証機構 (FIDO 認証) を導入したい。
- 暗号や電子署名に利用する鍵の管理にHSMを導入したい。

IoTセキュリティのしくみ

IoTセキュリティサーバは、TLS (Transport Layer Security) による暗号化通信を利用して各種IoT機器に電子証明書や認証鍵を配布します。またシステム構成の変更に伴う接続先や信頼点 (Trust Point) の追加・変更にも柔軟に対応できます。



ストロングオース社は、世界の中央銀行、大手金融機関、軍事機関が認めた認証・暗号化ソリューションを開発・提供している会社です。FIDOはFast IDentity Onlineの略語で、ヨーロッパやアメリカで話題の次世代認証システムです。



財務諸表 (連結)

四半期連結貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

	当第2四半期末 平成29年9月30日現在	前期末 平成29年3月31日現在
流動資産合計	22,506	22,352
現金及び預金	9,329	7,713
受取手形及び売掛金	10,133	10,755
繰延税金資産	877	918
その他	2,165	2,963
固定資産合計	2,392	2,854
有形固定資産	553	595
無形固定資産	44	30
投資その他の資産	1,794	2,228
資産合計	24,898	25,207

	当第2四半期末 平成29年9月30日現在	前期末 平成29年3月31日現在
負債合計 ①	9,069	10,273
流動負債	8,980	10,184
固定負債	88	88
純資産合計 ②	15,829	14,934
株主資本	15,577	14,704
資本金	1,513	1,513
資本剰余金	5,390	5,397
利益剰余金	11,828	10,737
自己株式	△3,154	△2,943
その他の包括利益 累計額	△26	△45
非支配株主持分	277	274
負債純資産合計	24,898	25,207



財務諸表に関するトピックス

- ① 負債合計は、買掛金の減少 (1,469百万円) などにより、前期末と比較して1,203百万円減少しました。
- ② 純資産は15,829百万円 (前期末は14,934百万円) となり、前期末と比較して895百万円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益1,532百万円、剰余金の配当441百万円によるものです。自己資本比率につきましては、前期末と比較して4.3ポイント上昇し62.5%となりました。

四半期連結損益計算書 (要約)

(単位：百万円)

	当第2四半期 自平成29年4月1日 至平成29年9月30日	前第2四半期 自平成28年4月1日 至平成28年9月30日
売上高	25,145	21,694
売上原価	20,177	17,354
売上総利益	4,967	4,339
販売費及び一般管理費	2,798	2,652
営業利益	2,168	1,687
経常利益	2,168	1,627
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,532	1,057



通期業績予想 (連結)

当第2四半期は好調な業績となりましたが、平成29年5月9日に公表しました通期業績予想に修正はございません。

(単位：百万円)

	当期 通期業績予想	前期 通期実績	増減率 (%)
売上高	49,253	46,255	6.5
営業利益	4,404	3,693	19.3
経常利益	4,416	3,407	29.6
親会社株主に 帰属する 当期純利益	3,011	2,197	37.1



配当について

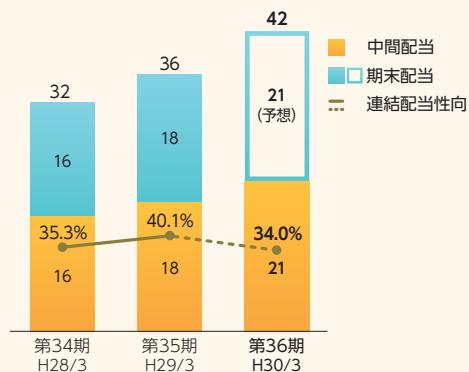
当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題の一つとして認識しており、安定配当の継続をベースとした上で、経営成績に応じた利益配分を行うことを基本方針としています。

具体的には、各期の業績および財務状況等を勘案して、連結配当性向40%を目標に、株主の皆様への利益還元策を積極的に行ってまいります。

上記の方針のもと、当期の中間配当は、公表のとおり1株当たり21円とさせていただきます。

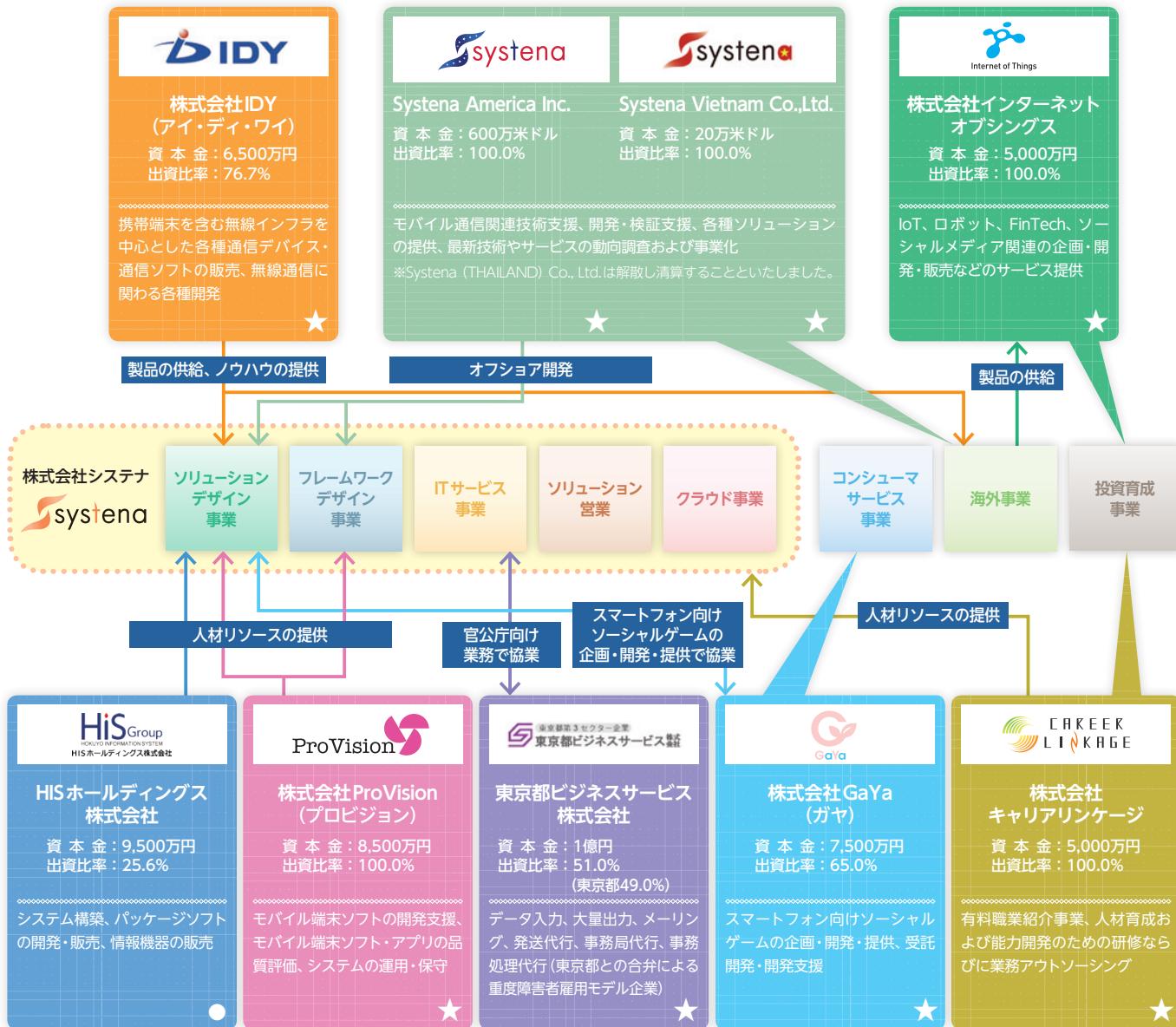
当期の期末配当につきましても、同様に1株当たり21円を予定しています。

1株当たり配当金の推移 (単位：円)



グループ会社概要 (平成29年9月30日現在)

グループ会社との連携による総合力の強化により、事業の拡大を図っています。



★印は連結子会社、●印は持分法適用関連会社

会社の概況 (平成29年9月30日現在)

会社概要

社名	株式会社システナ
設立	1983 (昭和58) 年3月
資本金	15億1,375万円
従業員数	単体: 2,233名 連結: 3,011名
加盟団体	モバイルコンピューティング推進コンソーシアム (MCPC) 日本スマートフォンセキュリティ協会 (JSSEC) Oracle PartnerNetwork 日本コンピュータシステム販売店協会 (JCSSA) 情報サービス産業協会 (JISA) 日本情報技術取引所 (JIET) Tizen Association Partner Program JASPAR (Japan Automotive Software Platform and Architecture)

役員

代表取締役会長	逸見 愛親
代表取締役社長	三浦 賢治
専務取締役	淵之上 勝弘
常務取締役	甲斐 隆文
取締役	河地 伸一郎
取締役	田口 誠
取締役 (社外)	鈴木 行生
取締役 (社外)	小河 耕一
常勤監査役 (社外)	菱田 亨
監査役 (社外)	佐藤 正男
監査役 (社外)	中村 嘉宏
監査役 (社外)	浜野 正男

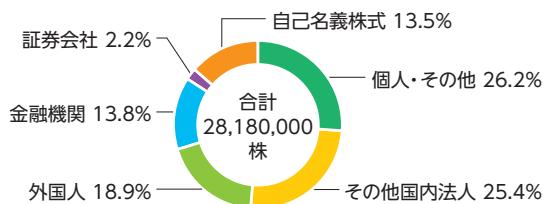
株式の状況

発行可能株式総数	92,400,000株
発行済株式の総数	28,180,000株
株主数	6,393名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
SMSホールディングス有限会社	6,634,200	23.54
株式会社システナ (自己株式)	3,794,411	13.46
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,672,200	5.93
システナ社員持株会	962,700	3.41
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG / JASDEC / FIM / LUXEMBOURG FUNDS / UCITS ASSETS	840,000	2.98
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	698,700	2.47
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	526,817	1.86
RE FUND 116-CLIENT AC	458,800	1.62
GOVERNMENT OF NORWAY	453,800	1.61
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	297,300	1.05

所有者別株式分布状況



ホームページのご案内 <https://www.systema.co.jp/>

Facebookのご案内 <https://www.facebook.com/systema.servicesolution/>

詳細なIR情報をはじめ、サービスのご案内、コンプライアンスへの取り組みなど最新の情報をご覧いただけます。ぜひご利用ください。



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月	
基準日	定時株主総会	毎年3月31日
	期末配当	毎年3月31日
	中間配当	毎年9月30日
	なお、その他必要がある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。	
単元株式数	100株	
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
電話照会先	TEL: 0120-782-031 (フリーダイヤル)	
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部	
証券コード	2317	
公告方法	電子公告により、当社ホームページ (https://www.systema.co.jp/) に掲載いたします。ただし、電子公告を行うことができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	

住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いのお申出先について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

TEL: 0120-782-031 受付時間 平日 9:00~17:00

「配当金計算書」について

配当金のお支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

株式会社システナ

本社	〒105-0022 東京都港区海岸一丁目2番20号 汐留ビルディング14F TEL: 03-6367-3840 (代表) FAX: 03-3578-3012 (代表)
横浜事業所	〒220-8123 横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号 横浜ランドマークタワー23F TEL: 045-640-1401 FAX: 045-640-1461
大阪支社	〒530-0013 大阪市北区茶屋町19番19号 アプローズタワー18F TEL: 06-6376-3537 FAX: 06-6359-7012
名古屋営業所	〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目2番7号 名古屋東宝ビル4F TEL: 052-209-5460 FAX: 052-209-5463
札幌開発センター	〒060-0003 札幌市中央区北三条西三丁目1番地6 札幌小暮ビル5F TEL: 011-208-1012 FAX: 011-208-1015
福岡開発センター	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前二丁目17番8号 安田第4ビル4F TEL: 092-477-7401 FAX: 092-477-7403
広島開発センター	〒730-0032 広島市中区立町2番23号 野村不動産広島ビル9F TEL: 082-577-1100
竹芝デザインスタジオ	〒105-0022 東京都港区海岸一丁目9番18号 国際浜松町ビル2F



この印刷物は、FSC® 森林認証取得用紙と植物油インキを使用して印刷されています。



この印刷物は、E3PAのゴールド基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA: 環境保護印刷推進協議会
<http://www.e3pa.com>



この印刷物は、風力で発電されたグリーン電力にて刷版を出力、印刷されています。
※当印刷物の刷版出力に必要な電力量を0.9kWh、8,000部を印刷するのに必要な電力量を61kWhと計算しています